

スズキ、2018年3月期第2四半期決算を発表

－ 増収増益、中間配当8円増配、通期業績上方修正 －

1. 第2四半期決算の業績概況

当第2四半期の連結売上高は1兆8,311億円と前年同期に比べ3,321億円(22.2%)増加しました。国内売上高は軽自動車販売の増加等により5,314億円と前年同期に比べ348億円(7.0%)増加しました。海外売上高はインド、欧州等での四輪車や二輪車の販売増等により1兆2,997億円と前年同期に比べ2,973億円(29.7%)増加しました。

連結利益の面では、営業利益は日本、アジア、欧州での損益改善等により1,729億円と前年同期に比べ574億円(49.7%)増加、経常利益は1,869億円と前年同期に比べ651億円(53.4%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,042億円と前年同期に比べ43億円(4.3%)増加しました。

中間配当金につきましては第2四半期業績が期初予想を上回ったことから、1株につき前回予想より8円増配し、30円(前年中間配当17円)とさせていただきます。同じく期末配当予想につきましても、1株につき前回予想より8円増配し30円とさせていただきます。

2. 各セグメントの状況

四輪車事業につきましては、国内売上高は昨年度に投入した「ワゴンR」、「スイフト」など新型車の販売貢献等により前年同期を上回りました。海外売上高はインドや欧州等での販売増等により前年同期を上回りました。この結果、四輪車事業の売上高は1兆6,691億円と前年同期に比べ3,014億円(22.0%)増加しました。営業利益は日本、アジア、欧州での損益改善等により1,624億円と前年同期に比べ531億円(48.5%)増加しました。

二輪車事業につきましては、売上高は新型スーパースポーツバイク「GSX-R1000」や新興国向けスポーツバイク「GSX-R150」の販売貢献等により1,244億円と前年同期に比べ278億円(28.8%)増加しました。営業利益は前年同期の営業損失7億円から37億円へと黒字になりました。

特機等事業につきましては、売上高は船外機の欧州向け輸出の増加等により376億円と前年同期に比べ29億円(8.4%)増加しました。営業利益は諸経費等の増により68億円と前年同期に比べ1億円(1.4%)減少しました。

所在地別の業績につきましては、日本、欧州、アジア、その他の各所在地で増収増益となりました。

3. 連結業績予想

連結業績予想につきましては、当第2四半期の実績を反映するとともに、販売台数見通し、為替前提等を見直しし、以下の通り修正いたします。当社グループは一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、以下の連結業績予想以上を達成すべく事業活動を展開してまいります。

(連結業績予想…通期)

売上高	3兆6,000億円	(前期比 13.6%増、前回予想比 2,000億円増)
営業利益	3,000億円	(前期比 12.5%増、前回予想比 600億円増)
経常利益	3,200億円	(前期比 11.6%増、前回予想比 650億円増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,800億円	(前期比 12.5%増、前回予想比 350億円増)

(為替レート) 1米ドル=111円、1ユーロ=123円、1インドルピー=1.70円、
100インドネシアルピア=0.85円、1タイバーツ=3.19円

以上

※連結業績予想については、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル/円相場、ユーロ/円相場、インドルピー/円相場)などが含まれます。